

平成29年度第1回稲毛区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

【会議概要】

- 1 日時 平成29年4月28日（金） 10時00分～12時00分
- 2 場所 稲毛保健福祉センター 3階 大会議室
- 3 出席者 委員 28名中 22名出席
事務局 稲毛保健福祉センター 所長、高齢障害支援課2名
稲毛区地域振興課 地域づくり支援室長・くらし安心室長
保健福祉局地域福祉課 3名
社会福祉協議会稲毛区事務所 所長以下3名

【次第】

- 1 開会
- 2 議題
(1) 稲毛区支え合いのまち推進計画（第4期稲毛区地域福祉計画）の策定について
(2) その他
- 3 閉会

【議事要旨】

議題1 稲毛区支え合いのまち推進計画（第4期稲毛区地域福祉計画）の策定について

事務局から、稲毛区支え合いのまち推進計画の「第3期計画の取組状況・成果並びに第4期計画に向けての方向性」、及び「第4期計画の骨子（案）」について、資料により説明し、質疑応答を行った。

<主な意見・質疑応答>

委員	地域包括ケアシステムの推進にあたっては、地域一丸となって取り組まなくてはいけないが、地域で諸団体の連携がうまくいっている地区部会エリアではどのようにやっているのか。
事務局	社会福祉協議会地区部会（以下「地区部会」という。）が中心となって、地域の諸団体に対し地域課題の共通認識を図り、それぞれの団体がそれぞれの役割を果たそうとしているエリアでは、地域の課題解決に向けた取り組みがうまくいっているのではないかと思う。
事務局	地域の相互扶助を目的に活動している町内自治会、地域福祉を目的に活動している民生委員、この2つの関係が重要ではないかと考えている。
委員	地域運営委員会と区支え合いのまち推進協議会の関係について、教えてほしい。
事務局	稲毛区では、昨年度、9地区で地域運営委員会についての説明会を行った。地区によって状況は異なるが、すでに地域の諸団体が顔を合わせて話し合う場を持っているという地区がほとんどであった。

事務局	<p>その場を地域運営委員会に移行していただくことが望ましいが、地域において、地域の課題について話し合う場があれば現状のままだまわらないと説明した。</p> <p>千草台地区では、地域運営委員会を設立済みであり、小仲台地区では、地域運営委員会の設立に向けて、準備委員会を立ち上げ話し合いを進めている。他の地区については、話し合う場があるので現状でよいという回答であった。</p>
委員	<p>あんしんケアセンターは、この4月より区内4か所から5か所に増えて、宮野木出張所も設立された。高齢者の相談窓口として、より身近な存在となれるよう取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>地域住民の参加による「支援や見守り」から「見守り・支え合い」に変更した理由は何か。地区部会で取り組んでいくときにどのように変えていけばよいか。</p> <p>私の地区部会では、敬老会の際は社会体育振興会が大変協力してくれる。子どもの広場では、民生委員が協力してくれる。その場その場でいろいろな団体が協力してくれる。</p>
事務局	<p>第3期計画での「支援や見守り」が第4期では「見守り・支え合い」に変更した理由については、「支援」とは困りごとがある人に対して解決するために何らかの措置を講ずることである一方、「支え合い」とは和をもって皆で支えていくということであり、「地域包括ケアシステムの推進」ということを意識した表現に変更している。</p>
委員	<p>私の地区部会では、この計画（以下「区計画」という。）ができると活動に大義名分ができて助かる。</p> <p>今までの活動を区計画に照らし合わせて、少しずつ意識を修正していく。参加するボランティアに染みわたっていくと、大変な場面でも協力してくれる。</p>
委員	<p>私の地区部会では、設立されてから歴史も浅いので、地区部会の活動はまだ少なく、区計画の目標達成までほど遠いが、少しずつ町内自治会や民生委員と協力してやっていきたい。</p>
委員	<p>私の地区では、地域運営委員会を設立することは考えていない。月1回、自治会長会を開催しており、地区の課題を話し合っている。必要があれば地域の団体を呼んで相談しているし、地域の団体が希望すれば参加してもらい相談に乗ることもできる。</p> <p>そのときの状況に合わせて、課題を解決すればよいと考えている。</p>
委員	<p>「第3期計画の取組状況・成果並びに第4期計画に向けての方向性」の資料の中で、防犯に関する取り組みの記載が、子ども関係に偏っていると思う。特殊詐欺等、高齢者をターゲットにした犯罪が増えているので、バランスがとれた記載にしたいと思う。</p>
事務局	<p>「防犯の取り組みの記載が子ども関係に偏っているのでは」というご意見については、「第3期計画の取組状況や成果」の記載内容が確かにそうと認められるので、次回の報告からバランスのとれた表現にしたいと思う。第4期計画の骨子（案）については、子どもに偏っていないのでこの内容でご了承いただければと思う。</p>

委員	<p>区民生委員児童委員協議会は、民生委員児童委員活動の支援を図ることを目的としており、民生委員が町内自治会や地区部会と協力して、地域福祉に積極的に取り組んでいけるよう支援していく。</p>
委員	<p>生活支援コーディネーターとして活動しており、平成 28 年度は、コープ園生というマンションで 65 歳以上の全戸調査を行い、高齢者のニーズを調査した。その調査結果をもとに、住民とワークショップを行って、やらなければならないことやできることを話し合っている。</p> <p>また、高齢者のサロンの立ち上げ支援、継続支援を行っている。もし、サロンの立ち上げをお考えの方がいれば、ご相談いただきたい。</p>
委員	<p>「幅広い世代にイベントなどへの参加促進を図り、顔見知りのきっかけづくりに取り組みます。」という記載について、子どもや高齢者、障害者が一緒に参加するというイベントは見たことがない。これこそをこれから広げていけたらと思う。</p>
委員	<p>『基本方針 3 「気軽に、楽しく、おしゃべりしたり、活動したり」するみんなの様々な居場所づくり』について、あんしんケアセンターが進めている高齢者の介護予防活動につながると思う。日頃から各種団体と連携し、居場所づくりを進めているが、せっかく地域にそのような場所があるのに、なかなかそこに参加してもらえない方が多くいるので、住民ひとりひとりに働きかけをしなければいけないと感じている。</p>
委員	<p>シニアリーダーの活動を 1 期生から行っている。</p> <p>具体的取組にある「健康づくりや介護予防の普及・啓発」について、シニアリーダーがかなり精力的に活動している。区計画で、シニアリーダーについても言及してほしい。</p>
事務局	<p>「シニアリーダー体操を具体的な取組に明記する」というご意見については、介護予防の普及・啓発活動は多種多様な活動が行われているため、それだけを区計画に記載することは難しい。ただし、各地区部会エリアの活動報告のなかで、シニアリーダー体操の活動実績を報告していけたらと考えている。</p>
委員	<p>次期計画で示されている 1 2 の具体的な取組については、現在でも私の地区部会で行われていると思う。</p> <p>支え合いについて、「支え合いのまち 千葉推進計画」の冊子の 1 3 3 ページにある推進体制のイメージ図を実現するためには、地区部会は町内自治会や地域の団体等を結びつける接着剤となり、団体を接着していくことによって、支え合いのまちができあがると理解している。今後もその方向で動いていこうと思っている。</p>
委員	<p>京成宮野木団地自治会周辺にはたくさんの団体があって、それぞれが活発に活動している。曜日を決めて、麻雀、グラウンドゴルフ、話し合いをやっており、毎日のように何らかの活動が行われている。麻雀は 20 人くらい集まる。</p> <p>地域が賑やかであればいい、地域の方が楽しめればいいという趣旨でいろいろな活動が行われている。</p>
委員	<p>知的障害児・者は、一人ひとり特性があるので、皆様が行っている様々な活動に</p>

	<p>参加することが難しい。見守り活動で、一人ひとりの特性を知っていただくことやお互いを知りあうというところから始めていっていただきたいと思う。見守り活動にとっても注目している。</p> <p>避難所運営委員会については、災害時に避難所を運営するにあたり、知的障害児・者が避難したときにいったいどのような対応がとられるのだろうか。知的障害児・者のことを知っていただがなくてはなかなか難しいと思う。運営委員会がどのような組織で運営されているのか、稲毛区内で何か所あるのかを教えてください。</p>
事務局	<p>区内に避難所は42か所あり、避難所運営委員会は27設立されている。一つの避難所運営委員会が複数の避難所をカバーしていることもあり、避難所の数と委員会の数は一致しない状況となっている。</p> <p>委員会の構成は、地域住民（町内自治会や自主防災会）と施設管理者、市職員となっている。災害発生時は、避難所の運営や要支援者の搬送等の役割があり、日頃から地域で協力していただかないと防災時に力を発揮できないため、平時から地域で協力していただきたいと思う。</p> <p>また、災害時に特に支援が必要な方を災害から守るための「避難行動要支援者名簿」については、32の町内自治会等と協定を締結し、協力をいただいている。</p>
委員	<p>知的障害児・者の気持ちを理解することは難しいが、市が「コミュニケーション支援ボード」というものを作成している。千葉市ホームページにも公開されているため、これを活用して、障害者の理解に努めていただきたい。</p>
委員	<p>すでに各避難所に「コミュニケーション支援ボード」は配布されている。障害者が防災訓練に参加していないのでまだ実際に使用したことはないが、訓練時に相談窓口にこれを置いて、「このように使いましょう。」と話している。</p>
委員	<p>実際に知的障害者の方とこの訓練を試してみたいというところがあれば、私に相談してほしい。</p>
委員	<p>老人クラブ連合会は、高齢者の居場所づくりに取り組んでいる。</p> <p>悩みは、本年度も1団体が退会するなど参加人数が減っており、老人クラブに入りたいという方がなかなかいないことである。</p>
委員	<p>民生委員の立場で、地区部会に参加している。</p> <p>私の地区部会では、高齢者のサロン、子どもたちのサロンに重点的に取り組んでいる。数年前からあいさつ運動、見守り活動も増えてきた。行事をやるに際して、11ある町内自治会が開催する行事とかぶらないように、町内自治会と協議して、配慮しながら行っている。</p>
委員	<p>私は防災を専門としており、千葉市防災会議の委員として避難所運営マニュアルの作成等に携わった。</p> <p>避難所運営委員会は、平成29年3月末現在、市内で277か所ある避難所のうち、約80%で設立されている。ただ、運営委員会ができてからそれでいいというのではなく、やはり実際に訓練をやっていただくことが必要と考えている。</p> <p>今後、防災関係で何かありましたら積極的に協力させていただきたい。</p>

委員	<p>第4期計画の印象としては、やや総花的であり、もう少し重点を絞った取り組みにできなかったのかなと思う。ただ、全体的にメニューとしての性格が強く、その中から地区部会が必要なものを選んで取り組むという性質上、総花的でも仕方ないかなと思う。</p> <p>また、「福祉」は社会的な弱者を支えるという施策であり、地区部会は平常時はいきいきサロン等により、高齢者や子ども達の居場所づくりということで役立っていると思うが、弱者であることが際立つ災害時に、社会的弱者への対応として地区部会としてどのようなことができるかを考えていきたい。障害者の避難所での扱いについて、お話しがありましたので、この点についても考えていきたい。</p> <p>第3期計画では、災害時における社会的弱者への対応についての記載が若干弱いような気がするので、第4期計画では肉付けをしていきたい。</p>
事務局	<p>「骨子が総花的になっている」というご意見については、「地域包括ケアシステムの推進」を強く打ち出すということも考えたが、この計画は高齢者だけでなく、子どもや障害者も対象とした計画であるため、高齢者に偏るのは疑問ということで、「地域包括ケアシステムの推進」は重大なテーマではあるけれども、基本目標や基本方針に記載しないで、基本方針のリード文に記載するという対応とした。</p> <p>区計画は取組項目のメニューの提示であるため、これによって自分の地域では何が課題であるのか何が必要であるのかお考えいただき、地区部会が中心となって、どの活動に取り組むかを決めていただければと思う。</p>
事務局	<p>地区部会として行うべき災害対策については、地区部会は活動範囲が広いため、実際に地域の防災活動の中心となるのは町内自治会と思われ、地区部会として行う平時の活動は防災講座の実施など、地域住民に対する普及啓発が考えられる。</p> <p>災害時の具体的な役割分担は、町内自治会や避難所運営委員会と連携をとって、地域の中で協議して決めていただければと思う。</p>
委員	<p>今の計画をつくる時に、「この計画は地区部会がやるのではなく、地区部会エリアの住民みんなでするのですよ。」ということをお皆さんに印象づけた。</p> <p>私の地区部会の役員構成は、町内自治会を初め、考えられる団体はすべて入っている。地区部会の会議のときに、皆さんに「こういう計画がありますよ。」と投げかけて、自分の団体ですることができることをそれぞれ考えてもらっている。例えば民生委員については、民生委員が持つ個人情報をお地区部会で吸い上げるのではなく、民生委員に動いてもらうということをやっており、この地区はうまくいっている。</p> <p>「基本方針2 人と人とのつながりをつくり、活かし、支え合い助け合う地域の連携プレー」を最初にやらなくては、皆で一緒にはできないと思う。自分が思っていることを皆がきちんと言って、皆で決めていくということをやっている。</p> <p>この計画ができるおかげで、「こういうことに向かってやっていきましょう。」と言いやすい。この計画すべてに等しく取り組むことは無理なので、最近取り組んでいなかった「防災」を重点的にやっていこうかと考えている。</p>
委員	<p>私の地区部会では、いろいろな団体がいろいろなところに参加して、互いに協力し合うということで、団体間の連携が取れるように皆でがんばっている。</p>

議題2 その他

事務局から、平成29年度第2回推進協議会について、6月下旬に開催予定であることを説明した。